

憲法を無視した暴走政治ストップ！ 貧困と格差是正のたたかいを結集して

第 31 回日本高齢者大会 in 沖縄を成功させましょう！

安倍政権が憲法も民意も無視した暴走を加速させています。

一昨年 of 安保法制（戦争法）の強行採決を境に、社会保障問題でも外交、原発問題でも歯止めのない暴走を突き進めています。ついに戦争法が実施に移され、自衛隊の軍艦がアメリカの艦船を警護する「米艦防護」を行いました。

さらに、国民全ての日常生活を捜査対象にする「共謀罪」法案の衆議院法務委員会での強行採決、残業を月 100 時間認める「働き方改革」の実行計画、原発事故を無視した原発再稼働と東日本大震災被災者支援の打ち切り、さらに法律違反の辺野古の護岸工事など、法治国家と民主主義の根幹が壊されようとしています。

その安倍政権は、内部では「森友・加計」問題での利権、腐敗に続き、復興大臣をはじめとする相次ぐ閣僚のモラル崩壊が次々露わになっています

安倍政権は、一刻も早く退陣させ、新しい政治を実現しなければなりません。

私たちは、昨年の第 30 回日本高齢者大会 in 東京で、史上最大規模の 1 万人の参加と幅広い企画の成功で、日本の高齢期運動の画期を創りました。

今年は、第 31 回日本高齢者大会を沖縄で開催します。すでに全国各地で参加の取り組みが始まりつつあります。

今年の第 31 回日本高齢者大会 in 沖縄は、高齢期運動にとっても特別の意義を持っています。日本の民主主義が危機にある時、辺野古新基地建設をはじめとする沖縄のたたかいに連帯すること、また、全国の民主主義や平和を守るたたかい、市民と立憲主義野党との共闘、年金カットや医療・介護福祉の社会保障切り捨て政策などを「勝つ方法は諦めないこと」という沖縄のたたかいに学ぶ絶好の機会となります。

第 26 期日本高齢期運動連絡会総会は、全国の高齢者に、今こそ高齢者の戦争体験と戦後の復興から学んだ平和と民主主義の重要性を若い世代に語り継ぎ、また、自らの課題として社会保障の充実や高齢期の困難を切り開く運動、高齢期地域連絡会づくりなどに取り組み、その成果を沖縄に持ちより、交流することを訴えます。

そして、第 31 回日本高齢者大会 in 沖縄を、高齢者の平和と民主主義を守る決起との場として大成功させましょう。

2017 年 5 月 20 日

第 31 回日本高齢者大会 in 沖縄 第 2 回中央実行委員会総会